

## 生物多様性保全基金を活用した取組について

- 大阪府では、野生動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出や、自然環境教育を進めるため、「生物多様性保全基金」を設置しています。

### 1. 生物多様性についての普及啓発

#### ■ 企業向けセミナーの開催

企業と自然環境との関わりや、身近な一歩から始められる実践のヒントを届けるセミナーを開催しました。

##### 第1回 “自然との共生”が企業の未来を変える ～生物多様性への取り組みから企業たちを創る～

日付 令和7年8月27日

参加者 約130名（オンライン含む）

登壇者 サラヤ（株）、山形開発工業（株）

##### 第2回 地域との関係から考える生物多様性の第一歩 ～自然共生サイトを通じた企業と地域の新しい接点～

日付 令和8年3月4日

参加者 約110名（オンライン含む）

登壇者 エスバック（株）、御菓子司津村屋 他



サラヤ(株)の講演



セミナー後の交流会

#### ■ 府民向けの普及啓発イベント出席

さかなつりゲーム・輪投げを通して外来種問題について発信しました。  
出展回数：4回 参加者：約1,900人



さかなつりの様子



輪投げの様子

#### ■ 普及啓発資料の公開

普及啓発資料「知ろう・伝えよう大阪の生物多様性」の改訂および動画を公開  
・動画基礎編：「生物多様性の3つの階層」や「生態系サービス」などを解説  
・動画事業者編：事業活動と生物多様性との関わりを解説



### 2. 多奈川ビオトープ(岬町)における保全活動

- 毎月の保全活動や5回の自然観察会等を開催し、延べ100名以上の府民の方にご参加いただきました。
- ・多奈川ビオトープは、「関西空港二期事業」の土砂採取場所跡地に整備された「多奈川地区多目的公園」内にあります。
- ・かつて豊かな自然環境の中で暮らしていた生き物たちを呼び戻そうと、地元市町村やボランティアの皆様等と連携し、湿地や草地の創出・維持管理等に取り組んでいます。



多奈川ビオトープの様子



自然観察会の様子

環境省「自然共生サイト」に認定（R6.3）

### 3. 特定外来生物(※)クビアカツヤカミキリ防除の推進

#### ■ 「サクラを守れ！クビアカツヤカミキリ【夏の陣】」

府内32市町村（R8.3末時点）に被害が拡大しているクビアカツヤカミキリから身近なサクラを守るため、府民参加型での捕獲イベントを実施

【開催期間】 令和7年6月～8月

【概要】 府内で捕獲したクビアカツヤカミキリの数を競う

【景品】 Amazonギフト券、おおさか産（もん）

【捕獲数】 約3,300匹

- ・大会期間中に成虫や卵を探すフィールド活動や標本づくりを通じた講習会等のイベントを実施
- 【イベント実施数】 16箇所
- 【参加者数】 約2,200人



クビアカツヤカミキリ



捕獲



標本作成

※外来生物法で指定された外来生物（海外起源の外来種）であって、従来の生態系や人間に及ぼす被害が大きい生物のこと。

